

食料

故に毎年六、七、八、九の四箇月間を休養期とし、其の他を使用期とす。

駱駝は野草を主食とす。而も其の種類の何たるを擇ぶ無し。又好んで野樹灌木の枝葉を食す。野草なきときは、穀草十斤と若干の雜穀(大豆)を給する外、二三日を間して、半斤以下の食鹽を與ふるを要す、然るに新疆と蒙古一帶の野草は、多量の鹽分を含有するに因り、別に食鹽を給するの必要なし。若し駱駝の疲勞せしときは、食鹽を給すれば、忽ち元氣快復すと云ふ。且つ植物油を十數日に一回宛、約半斤を飲ましむれば、體量を増加すること妙なりと。

服藥

駱駝は最も炎天を畏る。故に夏季は往々疾病に罹り斃死すること有り、注意を怠るべからず。夏季に在りては、勉めて水草潤澤、氣候溫和の山中に放養し、尙ほ且つ四五次服藥せしめて、暑毒を除却するを良とす。其の調劑服藥の法は、白砂糖、鹽油各半斤を數回に分與し、又一二次大黃一斤を頓服せしむるに在りと。

駱運と時期

駱運の時期には、駱商隊を成して、往來甚だ頻繁なり。一隊少なくとも五六十頭、多きは二三百頭の縦列を成して行進す。各隊は何れも天幕、糧食を携帶し、水草の有る處に駱陣を張り、犬を周圍に配布して、狼害又は盜難を防ぎ、以て幕營す。甘肅、陝